

2月1日（水）班会議で日々の生活を振り返る

桃生中学校では毎週金曜、班会議を実施して各クラスの課題や成長した点を、学級全体で共有しています。本日は1月27日（金）の2学年の話合いの様子をお知らせします。

今週の学校生活を振り返り、生活班ごとに真剣に話し合っています。

班ごとに話合いの結果を発表し合います。今週は『3年生に向けて』という意識が出てきたのか、授業態度に真剣みが増してきているので、より一層努力していきたい」といった意見や、「友達の様子をよく見て、困っていたら積極的に声を掛けたり、手助けしていこう」といった意見が出たようです。「時間



を守る意識が足りない場面もある」といった課題も、自分達で気づいて挙げていきます。

生活班での話し合いの内容を元に、放課後は班長同士で話合い、来週以降の生活でどんなことに力を入れ



ていくか話し合います。来週は「班長や学級委員だけでなく、仲の良い友人同士でもきちんと声掛けをしていけるように意識し合おう」ということを提案することになりました。

話合いの結果を学級の掲示物にし、来週の月曜の朝の会でみんなにお知らせします。

最上級生への進級まであと少しですが、仲間みんなで、より良い学級・学年を作っていこうという雰囲気が広がることを期待しています。



2月7日（火）みどり会「卒業・進級を祝う会」

桃生地区の特別支援教育の支援団体である「みどり会」主催の「卒業・進級を祝う会」が実施されました。桃生中生は、この一年取り組んできた学習をイラストにまとめ、発表しました。

役割分担し、それぞれの活動の内容を詳しく伝えるとともに、感想なども交えた発表でした。参加した小学生はとても興味をもって聴いていました。このような会を実施できるのも、石巻市桃生地区の皆様のご理解とご協力により「みどり会」を通じてご支援いただいている賜物です。改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございます。



2月7日（火）駐チュニジア大使 明日来校

駐チュニジアの大菅 特命全権大使が明日8日、桃生中学校に来校します。今回は、大菅大使自らが、チュニジア共和国の紹介や、国際交流について授業をしていただくことになりました。予習課題として、次のような学習プリントを生徒に配信しました。本日、ご家庭で話題にいただけると、明日の学びがより深まると思われます。どうぞよろしくお願いたします。

- 3 石巻市桃生地区内にある、次の写真について、あなたが当てはまるものを①～③から選びなさい。【難易度1】



- ①付近を通ったことがある。 ②どこにあるかは知っている。 ③全く知らない。

- 4 石巻市桃生地区内にある、次の写真について、あなたが当てはまるものを①～③から選びなさい。【難易度10】



- ①見たことがある。 ②どこにあるかは知っている。 ③全く知らない。

- 5 チュニジア共和国は何大陸にありますか。【難易度5】
 ①ユーラシア大陸 ②アフリカ大陸 ③南アメリカ大陸 ④オーストラリア大陸
 6 チュニジア共和国で多くの人が日常会話として話しているのはアラビア語と、何語だと思えますか。次から選びなさい。【難易度10】
 ①英語 ②スペイン語 ③中国語 ④フランス語 ⑤日本語

※ ここからは、大菅大使からの問題です。

7 世界の貧困を無くすために寄付をすることと、日本で困っているホームレスの人を支援することと、どちらを優先した方がいいと思いますか。次から選びなさい。【難易度70】

- ①寄付する ②ホームレスを支援する

8 なぜそう思ったのか、あなたの考えを書きなさい。【難易度100】

9 ウクライナでの戦争を終わらせるためには、どうしたら良いと思いますか。あなたの考えを書きなさい。【難易度100】

10 2020年以降のコロナ禍は、石巻市桃生地区の人々にどのような影響を及ぼしましたか。【難易度10】

11 2020年以降のコロナ禍は、世界の国々の関係にどのような影響を及ぼしましたか。【難易度80】

12 チュニジア大使に聞いてみたいことを書きなさい。【難易度3】

2月8日（水）部活動への取組～意気軒昂，自身の成長を感じながら～

毎日一生懸命部活動に取り組んでいる桃生中生ですが，1月も活躍の場に恵まれました。

1月29日（日）には，総合文化部吹奏楽班が石巻地区吹奏楽祭に参加し，小学校・中学校・高校・一般の方々と合同の，大編成による演奏を行いました。

また，1月28日（土）29日（日）の2日間，バレーボール部では春季大会に男女チームとも出場しました。（結果については以前に配信したとおりです。）日々の努力の成果が実を結び，男子は第3位，女子は第2位の好成績を収めました。

今回はそれぞれの部の代表生徒からの，当日の感想を掲載します。

「吹奏楽祭に参加して」 総合文化部吹奏楽班部長

1月29日に行われた吹奏楽祭に，石巻好文館高校に在学している先輩や，OB・OGの皆さんと一緒に出場しました。2度の合同練習の中で，練習の仕方や表現の仕方，体の使い方などを近くで見たり，聞いたりとできて，とても貴重な時間でした。



当日は総勢50名ほどの大編成で演奏をしました。こんなに大きな編成で演奏することは初めての経験で，すごく楽しく，色の濃い体験でした。

コロナ禍にもかかわらず，吹奏楽祭が開催されたことや，好文館高校の方々と演奏する機会に恵まれたことに心から感謝し，今回学んだたくさんの方々のことを夏のコンクールに向けた毎日の練習に生かしていきたいです。

「春季大会」 男子バレーボール部部長



男子バレーボール部は，9月の新人大会では思うような結果となりませんでした。そこから悔しさをバネに練習を重ねてきました。チームがまとまらなかったとき皆で話を重ねるなど，技術だけでなく，チームとしての成長も考えながら活動してきました。そういった中で迎えた春季大会は，自分たちの実力と，これまでの努力の成果をためすチャンスだと思いました。緊張もありましたが，ミスがあっても励まし合い，フォローし合って大会を戦い抜くことができました。

結果は3位入賞，賞状をいただきました。部員一人一人，課題はありますが，次の大会に向けて更に練習を重ね，男子バレーボール部は強くなります！

「春季大会を振り返って」 女子バレーボール部部長

私は，春季大会までの取組を通して，「練習」「声掛け」「仲間の大切さ」を再確認することができました。

新人大会の頃と比べると，私たちは個人のみならず，チーム全体の成長が感じられました。毎日取り組んだ「練習」の成果だと思っています。つらいと思うこともあったけれど，自分達で思っていた以上の力を発揮でき，楽しく大会を終えられたと思います。

また、「声掛け」の大切さは、2日目の準決勝で1セット目を落としたときに感じました。劣勢のときも「次取れば大丈夫！」や「良いプレーだったよ！」などお互い励まし合って、勝利をつかむことができました。

そして何より、厳しい練習や苦しい場面も、乗り越えられたのは「仲間」に支えられたからだと思っています。これからの練習も、声掛けや仲間を大切に、目標である夏の中総体に向かって、チームみんなで頑張りたいと思います。



部活動の代替わりも進み、最上級生への進級を意識している3学期、次の目標を見据えて決意を新たにすコメントに、それぞれの自覚と成長が感じられました。これからも桃生中生の活躍にご期待ください。

2月8日（水）

3学期始業式での1学年代表、黒澤美鈴さんの始業式での抱負発表の後半を紹介します。

2つ目は「学年の終わりなので、学年の終わりにふさわしい行動をすること」です。3学期は、この学級のみんなといわれる最後の学期です。みんなで仲良く楽しく、めりはりのある最高の学級をつくり上げたいです。皆さんは、自分の学級や学年のことをどう思っていますか？学級ごとにそれぞれ学級のカラーがあると思います。私は、桃生中学校で1番！と言えるくらいの学級、そして学年にしていきたいです。

そのためには、学級、学年をもっとより良くするために、自分たちの問題を解決し、自分から率先して取り組むことを大切にしたいです。学級の問題でもある3分前着席などの声掛けを積極的にできるようにしていきたいです。短い3学期ですが、自分が2年生になるためにふさわしい行動をとり、自分ができることは積極的に何でもしていきたいと思っています。

2月9日（木）石巻市震災遺構「門脇小学校」での体験学習を終えた、生徒代表の感想文です。

私が体験学習を通して学んだことは、震災当時の町の様子についてです。津波が来た時や地震の様子はインターネットを使って見たことがありましたが、詳しくは知りませんでした。でも、門脇小学校の校舎の様子や鈴木先生の講話を聴いて、たくさんのがわかりました。

地震がきたときは大きな揺れでみんな驚いていましたが、あせることなく無事に日和山に避難できました。このように落ち着いて避難できたのは日ごろの避難訓練だということがわかりました。

私は、この体験学習を通して学んだことを今後の生活に活かし、災害に向けての対策や心構えをしっかりとしていこうと思いました。



石巻市震災遺構門脇小学校体験学習での様子

2月9日（木）在チュニジア大使ご来校 大菅大使の特別授業

2月8日に、大菅 特命全権大使の特別授業が行われました。

在チュニジア大使が講演 桃生と30年続く交流〈宮城・石巻市〉

2/8(水) 20:09 配信「仙台放送」から

宮城県石巻市の桃生地区と、北アフリカのチュニジア、実は「30年」の交流があります。2月8日、桃生中学校に、在チュニジアの特命全権大使が訪れ、講演を行いました。桃生中学校を訪れたのは大菅岳史在チュニジア特命全権大使です。チュニジア出身の留学生が旧桃生町にホームステイしたことがきっかけで、30年前から桃生地区とチュニジアは交流を続けています。

講演で、大菅大使は写真を使いながら、チュニジアの文化などを伝えていました。大菅岳史 在チュニジア特命全権大使 「チュニジアは、イスラム教の国になる前はローマ帝国の一部で、これはその時代につくられた水道橋です」生徒 「チュニジアについてよく知る機会は無かったが、今回の話を聞いてとても興味が湧きました」「交流する機会が少ないので、その限られた機会を有効に使っていききたい」

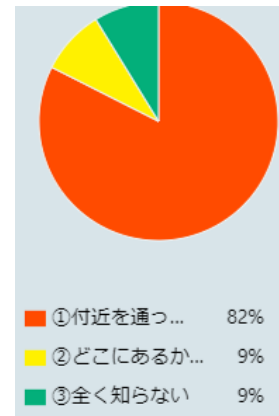


2月10日（金） 桃生中生……21世紀を担う「地球市民の主役」へ

在チュニジアの大菅 特命全権大使の特別授業に際し、実施した桃生中生のアンケートの一部をご紹介します。

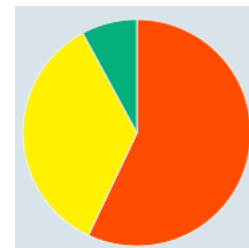
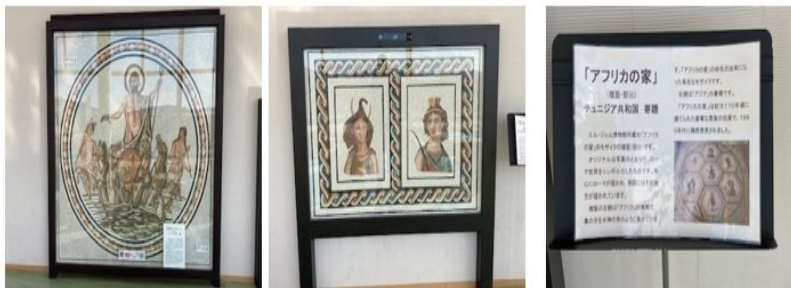
石巻市桃生地区内にある、次の写真について、あなたが当てはまるものを①～③から選びなさい。

【難易度1】



①付近を通ったことがある。 ②どこにあるかは知っている。 ③全く知らない。

桃生地区内にある、次の写真について、あなたが当てはまるものを選びなさい。【難易度10】



①見たことがある。 ②どこにあるかは知っている。 ③全く知らない。

大菅大使は「日本の中学生でチュニジアのことをこのように身近に感じているのは、桃生中生が日本で一番なのではないか」と感心されていました。

※ 以下は、大菅大使からの問いに対する桃生中生の考えです。

1 「ウクライナでの戦争を終わらせるためには、どうしたら良いと思いますか。あなたの考えを書きなさい。」

- 世界の各地の代表者が一つの場所に集まって話し合いをする場を設ける
- えらい人だけが決めるのではなく子供の意見も聞いたほうがいいと思う。
- 1 互いの文化を知り、認め合う 2 なぜ、戦争が起きているのか原因をよく知る 3 国を一つにする

2 「2020年以降のコロナ禍は、世界の国々の関係にどのような影響を及ぼしましたか」

- 自由に生活もできないことが増えて行動がしにくく、年齢関係なくコロナが怖く、家から出たくなくなる人も増えていたと思います。桃生地区の人々も世界の人々も同じ気持ちであったのは確かなんじゃないかと思っています。
- 医療機関がひっ迫してしまって、世界中のお医者さん、看護師さんがとても悪い環境に置かれてしまう状態、緊急事態宣言から第～波とどんどん増えていく感染者。不安で不安で、仕方なくなつたと思う。
- 貿易などの輸出入。物価がどんどん高くなっている。

3 「大菅大使への質問」

○大使館として問題視している課題やこれからも交流をより深めるためにどのようなことに取り組んでいきたいですか。

○世界で働くために努力したことがありますか

○日本では当たり前だけどチュニジアでは違うことは何ですか。

○外交官にとって英語の重要性について教えてください。

桃生中学校では、先月、大手新聞社の元ワシントン支局長やニュースステーションのコメンテーターをしていた高成田さんの講話、入学説明会での小学校の外国語との交流授業、長期休業中の英会話教室などを積み重ねてきました。そのことが子どもたちの学びの意欲の向上として現れているように感じます。年度またぎとなりますが、今年4月には、テラー・アンダーソン記念基金の皆様のご来校も予定されています。桃生中学校の生徒がどんな学びを創造していくのか、今からその日が楽しみです。

2月13日（月）除雪作業へのご協力 ありがとうございます

金曜日の午後から降り始めた雪は深夜まで続き、8年ぶりの大雪となりました。土曜日の午前中、男子卓球部や剣道部の生徒が校舎周辺の雪かきを行ってくれました。また、ソフトボール部の保護者の方は、部活動が行われない日にもかかわらず、来校して雪かきをしていただきました。さらに、20歳の先輩が重機で駐車場や桃武館、給食車の搬入路を除雪していただき、本日の朝、いつものような学校生活を始めることができました。地域・保護者の皆様のお力添えに感謝申し上げます。大変ありがとうございました。

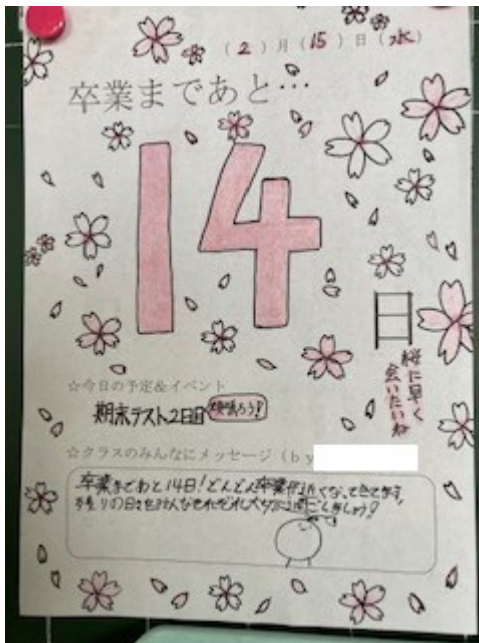


2月15日（水）最後の定期テスト

子どもの頃、「門前の小僧 習わぬ経を読む」ということわざを覚えてもらいました。同じような言葉として、「勸学院の雀は蒙求を囀る(かんがくいんのすすめはもうぎゅうをさえずる)」という表現があることを後に知りました（「勸学院」という教育施設の雀(すすめ)は、学生が「蒙求(もうぎゅう)」という中国の教科書を読むのを聞き覚えて、それを囀る(さえずる)」というたとえが由来となったことわざ）。

3年生の試験に臨む様子を見る度に、いつもこれらのことわざを思い起こしています。3年生は試験時間の50分、最後の最後まで問題を解き続けています。「当たり前」なことですが、「当たり前」を普通にできることは、とても価値があることです。学年全体がこのような姿勢を貫き続ける環境があることは、一人一人の学びにとってとても大きな財

産となったはずです。桃生中学校のより良き伝統として、後輩たちも代々引き継いで生きたいです。



2月15日（水）心の成長～世のため人のため～

2月11日（土）前日からの大雪で、校地内にも大変な積雪で覆われていました。

部活動のために登校していた卓球部の生徒が「トレーニングにもなるから」と言いながら、昇降口前の雪かきをしてくれました。

1時間も過ぎた頃には、昇降口前もすっかりきれいになり、生徒用駐輪場や職員駐車場にも取り掛かってくれました。顧問の先生から「そろそろ切り上げて部活の練習もしたいよね。」という問い掛けにも「ここまでやったからには中途半端には嫌なので、頑張りたいです！」という部長の声で、午前中いっぱいかけて除雪作業に取り組んでくれました。

ソフトボール部からも、2年生部員2名と保護者の方が応援に駆けつけていただきました。

自分たちのやりたいことよりも、月曜に登校してくる全校生徒のために力を尽くしたいという、生徒の思いと姿に感動させられました。



2月17日（金）校内色彩探し（1年生美術の授業より）

美術の授業で、校内を探検し、どんな色彩があるかを調べる学習を行いました。「その場所にその色彩を施すとどういう印象を与えるのか」を考え、環境と色彩の関係について着目することがねらいです。グループで楽しく美術を学んでいました。



（左）色彩カードを使って何色かを調べています。「先生の服の色に近い色がありそう！」

2月17日（金）チュニジア大使の授業

先日実施されたチュニジア大使の授業の様子が紹介されました。

「友好関係、深めよう」 駐チュニジア全権大使が石巻来訪 桃生中で講演

2023年2月16日 11:24「石巻かほく」より

在チュニジア日本大使館の大菅岳史特命全権大使（60）が8、9の両日、石巻市を訪れた。8日には同市桃生中（生徒178人）で国際理解をテーマに講話し、チュニジアについてPRした。9日には斎藤正美市長を表敬訪問。日和山や北上川河口沿いで東日本大震災からの復興の様子も視察した。

桃生中では桃生地区にある「カルタゴ通り」の由来となった同国のカルタゴ地区などの日常の写真を用いながら文化の違いや特色について説明。世界の貧困やロシアのウクライナ侵攻による影響などの時事問題にも触れた。

チュニジアはイタリア対岸の北アフリカに位置し、地中海性気候でオリーブが特産。ローマ帝国、オスマン帝国による支配やフランス植民地時代の影響があり、ローマ帝国時代の水道橋が現存することや、イスラム教徒の礼拝所のモスクだけでなく教会もあるなど、文化が入り交じっていると紹介した。

3年の遠藤千晴さん（15）は「チュニジアの詳細を知ることができ面白かった。フランスなどのさまざまな文化が入っていることが興味深かった」と語った。

桃生地区とチュニジアは1992年にチュニジア出身の東北大留学生在が旧桃生町にホームステイしたことをきっかけに、同国と親交を深めている。

大菅氏はこれまで国連政府代表部や国際協力局などで勤務し、国外から日本への支援に関する仕事も多く担当。昨年10月に駐チュニジア大使に就任した。「整備された被災地を自分の目で見ること、どれだけ甚大な被害を受けたかを改めて実感した」と話す。

「石巻市とチュニジアには、桃生地区との縁や、北上地区のオリーブ栽培の共通点もある。石巻に合う品種を探るなど、交流のきっかけになるかもしれない。市民レベルでの友好関係の基礎を築くことを目指し、広告塔になれば」と述べた。

2月20日（月）「すみません」の心

先週は久しぶりの大雪と寒さが続き、今年最も低い-10℃を下回った朝のことです。いつものように、朝の会の様子を見てきました。その日は、早い時間での出張があり、駆

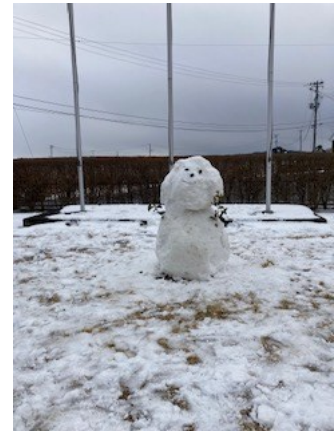


国際理解をテーマに講演する大菅氏



桃生中生からの質問に答える大菅氏

け足で見て、職員玄関にさしかかったときです。桃生中生のAさんがヘルメットを頭からはずそうとしていました。Aさんの手は真っ赤です。今朝の寒い中、自転車を長い時間こいできたのがすぐ分かりました。「おはようございます。寒い中、よく来ましたね。」とお互いに挨拶して、私は荷物を取りに職員室に入りました。



出張の準備をして再び玄関に来ると、Aさんがまだヘルメットの紐を触っています。私はその時、ヘルメットの紐が取れないでいたことに気がつきました。「ちょっと触るよ」と断り、なぜか堅く外れなかった紐を取ることができました。紐が動いた瞬間、Aさんは、「すみませんでした。」とお礼の言葉を言いました。私は、「よかったね」と言って玄関を出て出張に向かいました。

車中で、なぜ、最初の時に気がつくことができなかつたのか大いに反省しました。そして、「すみません」の言葉は、私が言わなければならない言葉だったと感じました。それを伝えきれず、そのまま来てしまったことだけが頭から離れない一日となりました。



「先生」とは、「先に生まれた」であり、子どもたちから学ぶことが多くあります。そのような貴重な瞬間を積み重ねながら、毎日生活できることに感謝します。その分だけ、目の前の子どもたち(=桃生中178名)が一人一人の無限の可能性を伸ばせるように全力で応援していきたいと思ひます。

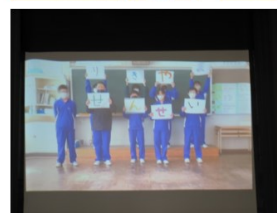


2月22日(木) 学年末考査に真剣に取り組む1年生

今日は学年末考査の2日目です。昨日は、1日で5教科を行うハードな日程ですが、これまでの学習の成果を發揮しようと頑張っています。

2月27日(月) 3年生を送る会が行われました

3年生にとっては卒業前のお楽しみ行事である3年生を送る会が行われました。1, 2年生からはクラス毎に作成したビデオメッセージが披露され、3年生からも在校生への感謝の気持ちを込めた動画が披露されました。その後、3年生のこれまでの生活の様子が音楽にのせて写真で紹介され、3年生からは「懐かしい」「かわいい」など、当時の写真を見ながら、改めて3年間の成長を感じることができました。最後に美術科担当の先生からサプライズビデオも紹介され、会は大いに盛り上がりました。それぞれの学年の生徒の準備のおかげでとても感動的な会となりました。



↑各学年、趣向を凝らした動画を披露。



↑3年生が在校生を向いて感謝の言葉を述べました。